

12月1日 米国、アラスカ州南部の地震

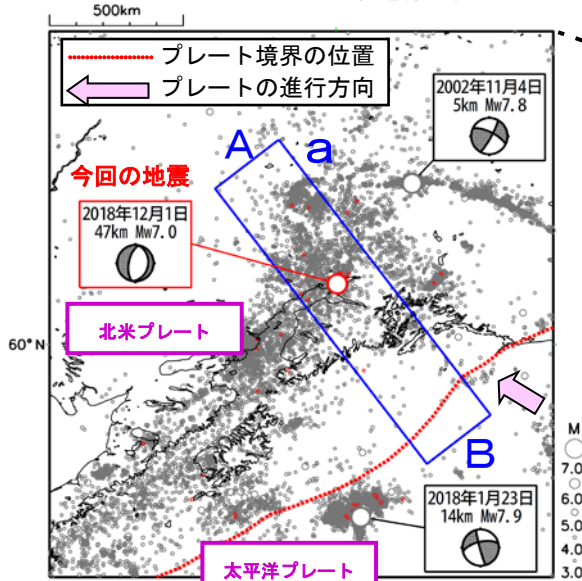
2018年12月1日02時29分(日本時間、以下同じ)に米国、アラスカ州南部の深さ47kmでMw7.0の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した地震である。発震機構(気象庁によるCMT解)は、東西方向に張力軸を持つ正断層型である。気象庁は、この地震に対して、同日02時55分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。今回の地震の発生後、今回の地震も含めM4.0以上の地震が36回発生している(12月31日現在)。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が度々発生しているが、M7.0以上の地震は今回が初めてである。1960年以降の活動をみると、今回の地震の周辺(領域c)では、1964年3月28日にアラスカ地震(M9.2)が発生し、死者131人などの被害が生じている。

震央分布図

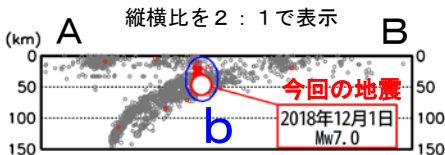
(2000年1月1日~2018年12月31日、深さ0~150km、M≥3.0)

2018年12月1日以降の地震を赤く表示



領域b内のM-T図及び回数積算図

領域a内の断面図(A-B投影)

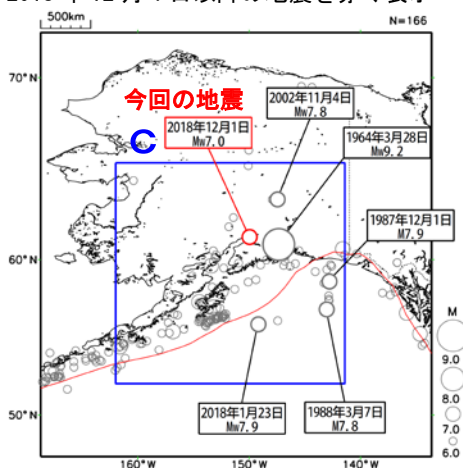


断面層で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。

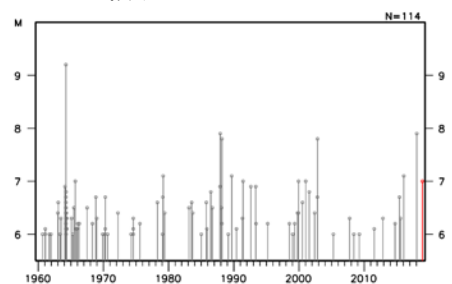
震央分布図

(1960年1月1日~2018年12月31日、深さ0~200km、M≥6.0)

2018年12月1日以降の地震を赤く表示



領域c内のM-T図



※本資料中、2018年1月23日の地震及び今回の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。また、1960年以降の地震の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年12月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。1964年3月28日の地震(アラスカ地震)のMと被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.